

産業経済委員会

【議案】令和6年度松浦市一般会計補正予算（第6号）関係分について

○令和6年7月中旬に伊万里湾で発生したシャットネラ赤潮により甚大な被害を受けたマグロ養殖業者等に対する追加支援として赤潮被害対策等事業に643万5千円が計上されました。

養殖事業再開に必要な代替魚の購入費用等の支援により、養殖業者の事業継続、産地維持を図るとともに、今後の赤潮被害軽減に取り組み強い養殖業者の育成を推進するための予算です。

○8月の台風10号、9月および11月豪雨により被災した農地農業用施設の復旧工事を行い、機能回復を図るために農地農業用施設災害復旧事業に9500万円が計上されました。

また、11月豪雨により被災した公共土木施設の復旧工事を行い、機能回復を図るために公共土木施設災害復旧事業に2億9416万7千円が計上されました。

いずれも各施設の機能回復を図るために必要な予算計上であり、妥当と認めました。

その他各委員会の活動

【鷹島海底遺跡保存活用特別委員会】

9月18日に委員会を開催し、元寇所縁のネットワークについて説明を受けました。

市長から、鷹島海底遺跡に関する国等への要望活動をしていく中で、水中考古学に対する世論喚起・機運醸成が必要であると考え、元寇に所縁がある自治体間のネットワーク構築に至った経緯について説明があり、行政だけではなく、議会間の連携について協力をお願いがありました。

議会としても世論喚起・機運醸成のためにネットワーク加入自治体議会への働きかけを行っていく必要性を認識しました。

【西九州自動車道及び道路網整備促進特別委員会】

伊万里・平戸・松浦・佐世保市議会・佐々町議会の4市1町による西九州自動車建設促進協議会の活動計画に基づき、本特別委員会の正副委員長が同協議会の会員として、10月23日に国土交通省九州地方整備局長に対し、また11月28日、29日には国土交通省、財務省および長崎・佐賀両県選出国会議員に対し、伊万里道路、伊万里松浦道路、松浦佐々道路

の事業促進と早期完成および道路整備予算の安定的な財源確保を要望いたしました。

要望に対し、更なる事業の推進のため、引き続き予算確保に取り組みでいきたいとの回答をいただきました。

【決算審査特別委員会】

委員会では、監査委員の審査意見を聴取し、決算附属書類等を基に順次関係課等の説明後質疑を行い、最終日に、市長他理事者に対し、総括質問後審査を行いました。

剰余金・不用額・基金が多額であり、特に財政調整基金の残高が30億6574万円で、標準財政規模の33・1%となっています。一方で実質公債費率・将来負担比率ともに全国平均・県内市町平均を大きく上回っており、将来に渡り健全で安定的な財政運営が求められます。

しかし、予算の抑制を強いられている市民から、ここ数年の剰余金・財政調整基金の積み増しに理解を得られるのは困難です。施設の解体費など明確な将来負担を市民に説明し、理解を求め、市民のニーズに応える財政運営に取り組みれるよう要望しました。

自主財源の確保の観点から、ふるさと納税寄付金は大変重要であり、

行政調査

【総務委員会】

令和6年11月5日から7日の3日間、東京都千代田区にあるNPO法人ふると回帰支援センターおよび宮崎県えびの市において、移住・定住、松浦高校の魅力化支援、まちづくりについて行政調査を行いました。

【NPO法人

ふると回帰支援センター】当該センターは県別ブースを有しており、各地域の相談員が常駐し、さまざまな移住相談（対面、電話、オンライン）に対応され、日本全国の移住に関する情報がここ1カ所です。手に入るという唯一の施設です。

松浦市はこのセンターに入会しており、9月21・22日に当該法人が主催したふるさと回帰フェアにブースを出展しPRを行ったところ、2日間で21件の相談があったとのことでした。